

### 株主の皆様への利益還元について

株主還元につきまして、今後の事業成長に必要な研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的、戦略的な自己株式取得を想定しております。当期の1株あたり配当金は、52円とさせていただきます。また、次期については、2円増配の1株あたり54円を予定しております。



### 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月中  
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
 特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 公告方法 電子公告により行います。  
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 なお、電子公告は弊社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下の通りです。  
<https://www.optorun.co.jp/>

### ホームページのご案内

◀ トップページ  
<https://www.optorun.co.jp/>

IR情報ページ ▶  
<https://www.optorun.co.jp/ir/>



## 第26期 株主通信

2024年 1月 1日から  
2024年12月31日まで

株式会社オプトラン

証券コード：6235



株式会社オプトラン  
 【本社】  
 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1  
 TEL: 049-299-8199  
 FAX: 049-299-8329





代表取締役社長執行役員

範 資

## 2030年売上高800億円を目指す

学部品が堅調に推移しました。サプライチェーンシフトの影響を受け、地産地消・共生共栄の観点から、日本、中国、ベトナム、フィンランドなどの各拠点における設備投資の強化と新製品開発に積極的に投資を行いました。

これにより、2024年は前年同期比で生産出荷台数が増加し、新型装置の売上高比率は42%、受注高比率は38%という高い水準に達しました。しかし、売上台数の減少に影響を受け、減収となりました。利益面では、利益率の高いALD装置の販売が寄与したものの、販売台数の減少により営業利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法による投資利益や円安による為替差益を計上した結果、前年同期比で増益となりました。

その結果、売上高は32,405百万円(前年同期比12.0%減)、営業利益は6,570百万円(同32.6%減)、経常利益は8,190百万円(同35.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,351百万円(同37.1%増)となりました。

### 株主の皆さまへ

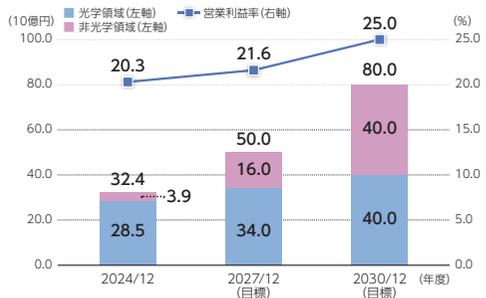
平素より格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。ここに、第26期株主通信をお届けいたします。

### 2024年12月期業績について

2024年1月1日から2024年12月31日までの期間における世界経済は、世界的なインフレに伴う金融引き締め政策の緩和が進む中、地域ごとに経済状況に差が見られるものの、全体としては底堅く推移しました。しかし、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化、その他の地政学リスクの高まりにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社の売上高は、光学領域におけるEV/コネクテッドカー向けディスプレイ、AIスマートフォンのカメラモジュール、光

### ■ 中期経営目標(2027/12)と長期経営ビジョン(2030/12)



### ■ キャッシュ・アロケーション(2025/12~2027/12累計)



### 2025年12月期業績見通しについて

最終製品市場における技術革新は急速に進展しており、光学、半導体光学融合、電子デバイスの各事業領域を通じて、成膜需要の拡大が期待されています。

光学分野では、スマートフォンのカメラ機能がデジタル一眼カメラに追いつき、さらなる高機能化や折りたたみ型スマートフォンの普及に伴う高機能需要の拡大が見込まれます。また、自動運転技術やコネクテッドカーの普及により、AI技術、通信技術、センシング技術、表示技術の進展が成膜需要の拡大を促進すると予想されます。

半導体光学融合分野では、ARスマートグラスやヘッドマウントディスプレイなど、ディスプレイの高解像度化や広視野角、光電融合デバイスへの成膜需要の拡大が見込まれます。

電子デバイス分野では、全固体電池や高周波通信デバイス関連の表面処理需要が拡大し、市場規模の拡大が期待されます。

これらの状況を踏まえ、2025年12月期の連結業績見通しは、売上高38,000百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益7,600百万円(同15.7%増)、経常利益8,600百万円(同5.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,400百万円(同0.8%増)を見込んでおります。

### 中期経営目標・長期経営ビジョンについて

光学から半導体光学融合、電子デバイスへの市場拡大を見据え、今後は半導体光学融合および電子デバイスを光学に次ぐ事業成長の柱として位置づけています。

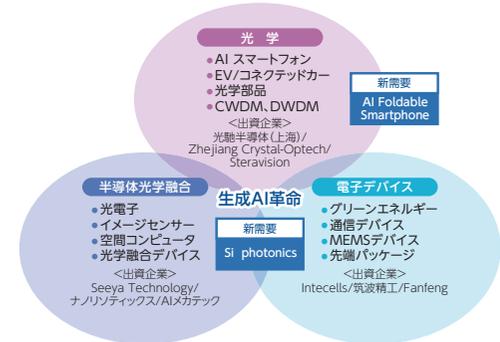
中期経営目標として、営業利益率20%以上、ROE(自己資本利益率)

10%以上、半導体光学融合および電子デバイスの売上高構成比30%以上を目指し、収益拡大と高効率経営を実現します。キャッシュ・アロケーションは、企業価値創出に向けた成長投資および戦略投資に優先的に配分し、安定的な株主還元を実施いたします。

長期経営ビジョンとして、2030年12月期には、売上高800億円、営業利益率25%、光学以外の事業領域での売上高構成比50%を目指します。

これらの取り組みを通じて、さらなる成長機会を獲得し、顧客価値を創造し、市場競争を勝ち抜き経営基盤を築いてまいります。引き続き、株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ 事業領域と出資企業



### Topics 成長戦略投資及び株主還元

#### AIメカテック株式会社との資本業務提携契約締結及び同社株式の取得について

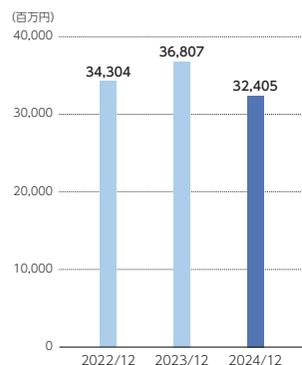
AIメカテック株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。また、同社の株式を取得することにより、技術提携を含む広範囲で強固な協業関係を構築し、さらなる事業成長拡大を目指します。

#### 自己株式の公開買付けについて

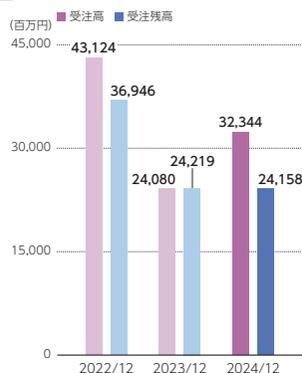
1株当たり当期純利益(EPS)の向上、自己資本当期利益率(ROE)などの資本効率向上に寄与することや、株主の皆様に対する利益還元となることから、公開買付けの方法により自己株式を取得することを決定いたしました。引き続き、株主価値向上のため、機動的・戦略的に株主還元を図ってまいります。

## 連結財務ハイライト Financial Highlights

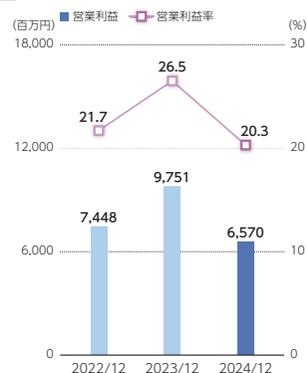
### 売上高



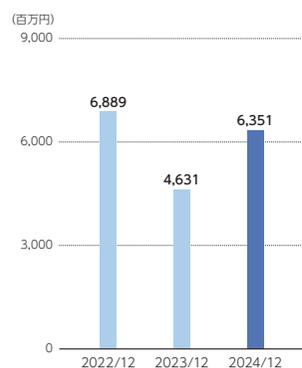
### 受注高／受注残高



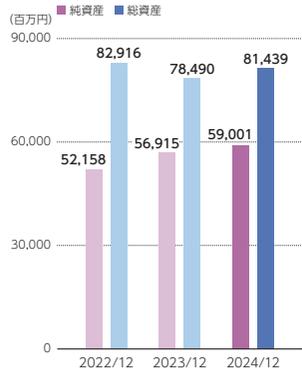
### 営業利益／営業利益率



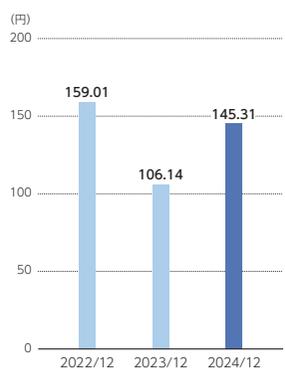
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 純資産／総資産



### 1株当たり当期純利益



## 要約連結財務諸表 Financial Statements

### 貸借対照表

	2023/12	2024/12
<b>資産の部</b>		
流動資産	57,631	54,571
固定資産	20,858	26,868
有形固定資産	11,406	14,152
無形固定資産	423	210
投資その他の資産	9,028	12,505
資産合計	78,490	81,439
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,096	14,766
固定負債	2,478	7,671
負債合計	21,574	22,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本	51,134	49,980
資本金	400	400
資本剰余金	9,348	9,477
利益剰余金	41,421	44,437
自己株式	△ 35	△ 4,335
その他の包括利益累計額	5,181	8,708
非支配株主持分	600	312
純資産合計	56,915	59,001
負債純資産合計	78,490	81,439

### 損益計算書

	2023/12	2024/12
売上高	36,807	32,405
売上原価	18,353	17,907
売上総利益	18,453	14,498
販売費及び一般管理費	8,702	7,928
営業利益	9,751	6,570
営業外収益	386	1,996
営業外費用	4,086	376
経常利益	6,051	8,190
特別損失	53	5
税金等調整前当期純利益	5,997	8,184
法人税、住民税及び事業税	1,231	925
法人税等調整額	93	881
当期純利益	4,672	6,377
非支配株主に帰属する当期純利益	41	26
親会社株主に帰属する当期純利益	4,631	6,351

### キャッシュ・フロー計算書

	2023/12	2024/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,180	5,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,599	△ 7,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,206	△ 3,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	679	1,516
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,946	△ 4,940
現金及び現金同等物の期首残高	34,922	32,976
現金及び現金同等物の期末残高	32,976	28,035

# 株式情報 Stock Information

(2024年12月31日現在)

## 株式の状況

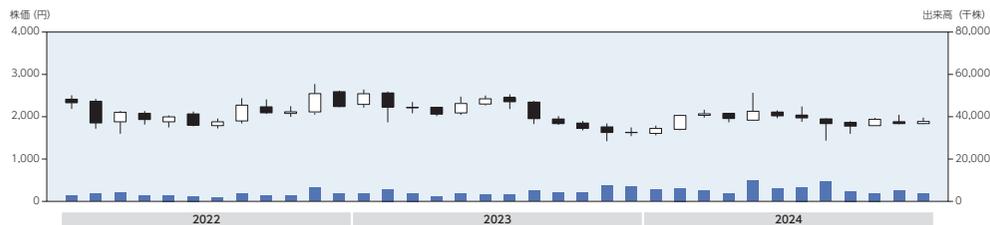
発行可能株式総数 ..... 177,432,000株  
 発行済株式総数 ..... 44,358,000株  
 株主数 ..... 7,695名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	6,507	15.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,710	11.26
孫 大雄	2,543	6.08
JSR株式会社	2,310	5.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,782	4.26
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	1,347	3.22
株式会社アルバック	1,038	2.48
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,027	2.46
林 為平	849	2.03
井村 俊哉	838	2.00

(注) 1. 弊社は、自己株式を2,534千株保有しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価・出来高の推移(月足)



# 会社情報 Corporate Information

(2024年12月31日現在)

## 会社概要

会社名 株式会社 オプトラン  
 (OPTORUN Co.,Ltd.)  
 住所 [本社]  
 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1  
 設立 1999年8月25日  
 資本金 400百万円  
 事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

## マネジメント体制(2025年3月25日現在)

<b>取締役</b>		<b>監査役</b>	
取締役会長	林 為平	監査役	淡路 正史
代表取締役	範 寶	社外監査役	佐々田博信
取締役	近藤 宏治	社外監査役	片山 律
社外取締役	林 敏	<b>執行役員</b>	
社外取締役	瀧口 匡	社長執行役員	範 寶
社外取締役	島岡未来子	常務執行役員	奚 建政
<b>請役</b>		常務執行役員	久保 昌司
名誉会長	孫 大雄	常務執行役員	石野 雅彦
上級顧問	高橋 俊典	執行役員	近藤 宏治
顧問	小田木秀幸	執行役員	西村 正大
		執行役員	李 剛正

## 主なグループ会社

